

令和6年度事業報告

令和6年度は、コロナ禍収束から一年が経過し、平時の社会経済活動への移行が進んできた年度でもあります。本会シルバー事業でも、会員数とともに請負事業や派遣事業においても、これまでの減少傾向から一転し増加傾向に転じています。

国の情勢においては、政府与党が衆議院議員選挙において「政治とカネ」の問題を受け、大敗を喫し過半数に届かず少数与党に転落しました。また、20年ぶりとなる新紙幣の発行においては、3Dホログラムや触って金種が識別できるマークの採用など、誰もがわかりやすいユニバーサルデザインが採用されました。スポーツ界においては、MLBの大谷選手がメジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」を達成、さらにはナショナル・リーグの本塁打王と打点王の2冠に加え最優秀選手(MVP)にも選出されています。パリ五輪では、日本人選手団が海外開催の夏季五輪で過去最多となる45個のメダルを獲得しています。

また、令和6年度も昨年度と同様に6月～8月の全国の平均気温が平年よりも1.76度高く、1898年の統計開始以降、最高であった昨年と並び1位タイとなっており、気象庁の異常気象分析検討会長も「異常気象と呼んでも差し支えない」との発言を行っています。このような状況を踏まえ、本会における屋外等での作業時においては、熱中症対策等を充分に行ったうえで作業にあたることが重要です。

I 事業の概要

令和6年度における本町シルバー人材センターの経営状況は、コロナ禍以降では初めて受託事業収益が対前年で増収に転じていますが、コロナ禍以前の受託事業収益額には届いていません。また、事業収益の増収と相まって経常収益においても増収に転じているものの、経常収益を上回る経常費用となったため、僅かではありますが当期一般正味財産増減額において65千円の減となり、一般正味財産期末残高は11,677千円となりました。その要因としては、本会役員及び職員の新体制並びに事務所移転問題に伴う会議費、旅費交通費の増加に加え、インボイス制度開始に伴う消費税負担の増加が考えられます。

事業実績については、6年度末の会員数で対前年度6名増の298人となり、令和2年度以降では久しぶりの増加となりました。また、受託事業(請負・委任)及び派遣事業では、対前年度を上回る事業実績となり契約金額ベースで、請負・委任が12,500千円(10.1%)、派遣が8,713千円(22.9%)の増加となりました。さらに、公共及び民間等の区分においても、対前年度を上回る事業実績となり契約金額ベースで、請負・委任の公共事業が7,279千円(21.%)、民間事業が5,221千円(5.8%)、派遣の公共事業が155千円(23.4%)、民間事業が8,558千円(22.9%)の増加となりました。

最後に、本町の令和7年3月31日現在の人口は、19,006人(男性9,198人、

女性 9,808 人) で 60 歳以上の人口は、8,809 人、会員数は 298 人、粗入会率は 3.38%となっています。

令和 6 年度の実績は、次のとおりです。

(1) 会員数の状況 (単位：人)

区分	5 年度末会員数	6 年度入会員数	6 年度退会員数	6 年度末会員数
男性	173	15	16	172
女性	119	18	11	126
合計	292	33	27	298

(2) 受注件数 (単位：件)

区分	請負・委任	派遣	合計
令和 6 年度	2,515	61	2,576
令和 5 年度	2,467	58	2,525
前年度差異	48	3	51
対前年比	101.9%	105.2%	102.0%

(3) 就業延人員 (単位：人日)

区分	請負・委任	派遣	合計
令和 6 年度	30,057	8,572	38,629
令和 5 年度	28,514	7,133	35,647
前年度差異	1,543	1,439	2,982
対前年比	105.4%	120.2%	108.4%

(4) 契約金額 (単位：千円)

請負・委任契約金額				
区分	配分金	材料費等	事務費	計
令和 6 年度	117,049	2,555	16,082	135,686
令和 5 年度	106,200	2,465	14,521	123,186
前年度差異	10,849	90	1,561	12,500
対前年比	110.2%	103.7%	110.7%	110.1%
派遣契約金額				合計
区分	賃金	手数料等	計	
令和 6 年度	35,620	11,067	46,687	182,373
令和 5 年度	29,022	8,952	37,974	161,160
前年度差異	6,598	2,115	8,713	21,213
対前年比	122.7%	123.6%	122.9%	113.2%

今後、地域の期待と各社の需要に応えるためには、会員の拡大が不可欠であるとともに、会員拡大後の対応として就業機会の確保が重要となります。

高齢者が有する経験と能力を活かして地域社会で活躍する場を提供し、生きがいの充実や健康の保持・増進、社会参加等、現役を引退した後も就業等を通じて地域社会での「居場所」や「出番」が得られることを目指し、シルバー事業の普及啓発と就業機会の開拓・確保、就業形態の多様化に伴う適正就業の推進、ボランティア活動など、積極的に事業を展開していかなければなりません。

Ⅱ 実施状況

1 会員の拡大のための対応

- (1) 広報委員会を9回開催するとともに、7月1日には当シルバー人材センター会報「シルバー庄内」(第17号)を発刊し、会員に対して情報提供を行いました。
- (2) 令和6年度中は33人(男性15人、女性18人)の加入と、27人(男性16人、女性11人)の退会があり、年間では6人の増加となり令和7年3月31日現在で298人となりました。
- (3) 役職員による新規会員の勧誘を行いました。
- (4) 町広報「しょうない」及び「庄内日報」に、会員募集中等の広告を掲載しました。
- (5) 役職員による新規会員の勧誘とともに、センターに興味を持っている人がいる方の情報に対しては、積極的に情報提供並びに勧誘を行いました。
- (6) ホームページによる情報発信を実施しました。

2 就業機会拡大のための対応

- (1) 安全就業及び事故防止並びに就業率の向上を図るため設置した職群班を活用し、就業の平準化並びに未就業会員の解消に努めました。さらに、12月23日には、日頃から抱える課題解決のため職群班班長会議を開催しました。
- (2) 町広報「しょうない」、町議会だより、県民のあゆみ及び余目地域における「コミュニティしんぶん」の配布は継続的に取り組んでいます。
- (3) 「在宅高齢者軽度生活援助事業」の拡大に努めました。
- (4) 衆議院議員選挙及び県知事選挙ポスター掲示板の設置撤去に取り組みました。
- (5) 昨年に引き続き、需要に応じた門松の制作に取り組むとともに、庄内町役場及び庄内町社会福祉協議会に寄贈しています。
- (6) センター会員がセンターからのお知らせや就業情報などをスマートフォンから閲覧することができるサイト「smile(スマイル) to(トウ) smile(スマイル)」のサービスを運用し就業機会の拡大に努めました。

3 安全・適正就業の推進のための対応

- (1) 安全・適正就業委員会を開催し、会員の就業中及び就業途中における事故防止対策を図るとともに、安全・適正就業委員による就業現場巡回指導を実施し、就業現場の安全対策の強化に努めました。

- (2) 事故防止、安全就業に努めましたが、請負・委任事業で傷害が5件発生しており、うち4件は保険金支払が終了しました。なお、派遣事業では労災保険適用事故はありません。
- (3) 安全・適正就業強化月間において、安全就業に関する標語の募集を行い、会員9人から19点の応募があり県連合会に報告しています。今年度は、新広町の「齋藤貴士氏」が優秀賞に選ばれ、10月9日に開催された安全就業推進大会に本会役員とともに参加いただき受賞されています。

4 組織・運営基盤の確立と事務局体制の整備充実

- (1) 会員等が就業体験（職場見学）を行った場合に、各センターに交付される高齢者活躍人材確保育成事業や連合交付金並びに町補助金の確実な申請・報告と拡充に努めました。
- (2) 役職員は自己のスキルアップのため、連合会等が主催する各種大会や研修会等に積極的に参加しました。
- (3) これまでの課題であった本会事務所の在り方について、諸課題検討委員会並びに理事会等では、候補地の議論を深め移転の方向性を示すべく会議を重ね会員説明会を開催しました。3月5日と7日の二日間の説明会では、役員を含めた延べ111人から参加者いただき「参加者アンケート」の実施とともに、多くの会員の声を聴くことができました。
- (4) 令和5年度より実施されたインボイス制度と、令和6年度に施行されたフリーランス新法に対応した新契約方式について、令和7年度中の着手を目指し準備を開始しました。

5 ボランティア活動の推進

社会参加・社会貢献活動を通して地域社会に奉仕し、町民から親しまれるシルバー人材センターの実現を目指して、7月12日(金)に総勢43名の会員参加のもと、余目八幡公園周辺、障害者多機能型施設ひまわり園、JR狩川駅の草刈り、草取り作業、剪定等を実施し感謝の声をいただきました。

6 要望活動の実施

全シ協要望書の提出とともに、本会が掲げる決意と支援の要望書についても手交により提出のうえ、庄内町長、庄内町議会議長及び庄内町役場担当職員との話し合いを行いました。特に、独自要望書では継続要望である町補助金の増額、インボイス制度への対応等に加え、新たな事務所の確保について意見交換を行いました。

7 理事会等の開催

シルバー人材センターの業務執行等を審議するため理事会8回、三役会議19回、広報委員会9回、安全・適正就業委員会（班長会議）3回、諸課題検討委員会4回及び事務局会議を随時開催しました。